

Stage 1 More First Words

Is It?

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。Is it ○○? It is○○.と繰り返しのテンポがいいので、小さな子もすぐに覚えることができます。

■ お話をみていこう!

表紙: 箱から何か取り出しているね。

P1 キツパーなの? そうだよ。

P2 ビフなの? そうよ。

P5 チップなの? そうだよ。

P7 フロッピーかな? 最後は、一緒に拍手をしましょう。

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

P7 「マントの上から、髪の毛が見えているよね。キツパーかな?」とお子さんに言ってみてください。本当はフロッピーですね。

P7 :フロッピーの前足を持っているのは、誰かな?

Is It? を、英語でやってみよう！

■ やってみよう！

1) Is It? ごっこ

元気いっぱいのお子さんに)

パパのシャツを着せるとピエロが出来上がります。バスタオルでもOK。

ただし、ピエロのキッパーになるには、逆立ちの練習が必要です。

お子さんの両足を持って、それっぽくなるようお手伝いしてあげてください。

2) ペープサートを使って人形劇をしてみましよう。

イラストに割り箸のような軸になるものを貼れば完成です。

表と裏とで違う顔にできるので、面白くなります。

子どもの身近な人が出てくるお話に変更も。

Is it ○○(おばあちゃん)？

It is ○○.と楽しい時間になります。



Get On

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。最後に水に落ちる音がします。

■ チェック

表紙: パパがバナナフロートに空気を入れてあります。息を切らしています。

P1 空気が入りました。パパが Get on.と言っています。P6 チップの表情を見てみましょう。チップは後ろに座っているので、バナナフロートの変化に気付いたのですね。

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

P7 Kipper got on.の後、絵本をブルブルとゆっくり動かして、子どもに何かが起こる予感をさせましょう。

体験談“Get on”をアレンジして遊んでみました

・バナナフロートを、パパのお馬さんごっこでやってみました。2 人兄弟なので、人数合わせにぬいぐるみを使いました。最後は、パパのお馬さんがふざけて暴走するので爆笑になりました。

・お風呂のとき、丸めたハンドタオルをお湯に浮かべて、お風呂用の人形を乗せていきました。子どもが好きなキャラクターの人形なので、それ以来、ORT を読むときキャラクター人形を持ってくるようになりました。

Get on の英文はそのまま、

新しいお話を作ろう！

このお話は、バナナボートを別のものに変えるだけで、

キッパーたちの別のお話になります。

子どもの自由な発想で、乗り物と最後のシーンのアイデアが膨らむように

お手伝いをしてあげてください。

例)バナバボートから 変更した乗り物	最後の Oh,no!のシーンは？
イルカ	勝手に遠くへ行き始めちゃった。
シャボン玉	パッと消えちゃった。
大きい風船	空に飛んでいきそうになっちゃった。
ブロッコリー	つかまりにくくて落ちちゃった。
ハリネズミ	痛くてみんな逃げちゃった！(＊)

(ORT Stage 1 Hedgehog を読んだ子どものアイデアです)

子どもが主人公のお話に変じ！

英文の Biff,Chip,Kipper を、お子さんやお友達の名前に変えると、

お子さんが主人公の特別なお話になります。

お話が完成したら、手作りのミニ絵本を作ってみましょう。

Floppy did This

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。

チェック)表紙:みんなで何を見ているのかな？

P1 パパはチップに何と言っているのかな？ P3 パパが、キッパーを描いた絵を見てい



ます。こんな風にじっくり見てくれると、ビフもうれい
すね。P4 キッパーは、ビフが自分の名前を書いているの
を、まっすぐ見て拍手しています。P6 キッパーがママと
いう字を書いています。ママが、誉めていますね。P8 フロ
ッピーの得意げな顔も微笑ましいですね。

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

読み聞かせの途中で、キッパー家族といっしょに拍手をしましょう。褒め言葉も言いま
しょう。(Good ! It is Great ! など)

■ やってみよう！

子どもたちは、絵の下に名前を書いていますね。P8 フロッピーの絵には、名前が書か
れてありません。フロッピーの名前を書けるかな？

()

2) P2 と P4 を開いて、_____ に名前を書きましょう。

P2 What is Chip writing?

He is writing _____ .(Biff)

P4 What is Biff writing?

She is writing _____ .(Kipper)

Floppy did This の英文を使って

日本の文化を紹介しよう！

Who did this?



Chip did it.



Biff did it.

ほかに、外国人の先生やお友達に紹介したいものを

考えてみましょう。

Get Dad

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。最後の水の音が聞こえてきますね。
Go on, Dad ! Get ~.とテンポよく繰り返されます。

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

7P のママの顔を、付箋で隠しておきます。Go on, Mum!の後、子どもにはがせましょう。

表紙: パパの水鉄砲、ものすごい勢いです。

子どもたちはパパに追いかけてもらって、水をかけてもらう遊びをしています。

パパ、いいよ！ウォーターガンを持って追いかけます。

■ やってみよう！

Get~を使って、海の生き物をつろう！

用意するもの:

- ・紙に描いた海の生き物のイラストを切り抜いて、磁石をつけます。
- ・チラシを丸めて筒を作りましょう。竿になります。
- ・ビニールプール(水は入れません)または、水を表すものを、床の上に置いても OK。

Get _____.

_____に、生き物を表す英語を入れましょう。

an octopus,



a dolphin,



a starfish



お子さんが好きな生き物も、入れてあげてください。

Up You Go

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。最後、パパの情けなそうな声が愛嬌がありますね。GO! Go, go ! Go,go,go ! No,no,no ! とテンポがよく、英語のおしゃべりが出てきそうです。

■ 絵本の読み聞かせ

お母さんの声、またはCDや音声ペンに合わせて、ページをめくりましょう。

■ チェック

・季節はいつかな？

★お話が終わった後、クイズを出してみましょう。

一番最初にすべったのは、だれかな？

2番目に滑ったのは？フロッピーも滑ったかな？

パパが滑ったらどうなったかな？

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

Up You Go のお話に合わせて

手づくり滑り台あそび

古新聞や雑誌の山に、段ボールやスケッチブックを立てかけて、滑り台を作ります。

ミニカーのような車輪のあるものや、ビー玉に名前を付けて、

Up you go, _____.(_____に、名前)と声をかけて、転がしてみましよう。

材料



* Get Dad のやってみよう！でご紹介している釣りのプールがある場合は、滑り台からプールに滑り込むようにしてみてください。

プールの中に、ジョーズがいたりタコが吸いついてきたり、発展させることができます。

I See

■ 読み聞かせ

CD や音声ペンに合わせて絵本をめくりましょう。

■ お話を見ていこう！

表紙：キッパーが手で双眼鏡を作っています。P1 キッパーが望遠鏡で、ビフを見えています。チップはボディビルダーのように、パパとママもペアでポーズをとっています。P4 チップとビフと一緒に見始めました。段ボール箱やフロッピーの家の入り口から見えています。P6 星形のメガネや鏡も見えています。P8 キッパーが見たものが並んでいます。

■ 子どもをお話に引き付けるアイデア

I see _____ ! キッパーみたいにのぞいていきましょう！

ラップの芯で望遠鏡を作ります。長さが短い場合は、双眼鏡に。

・葉っぱや、みかんの粒のような、普段は細かく見ないものも観察してみましょう。「ミツケ！」(I Spy)や「ウォーリーをさがせ」のように、探しっこ絵本を使ってもOK。ラップの望遠鏡で見ると難度が上がります。難易度を上げたい小学生には、ティッシュペーパーが切れたばかりの空き箱に、時計を入れて、

取り口のナイロンのところから、中の時計の秒針を読ませましょう。

・おうちの中にある、チェック柄のもの、ストライプ、水玉のような模様も探してみましょう。

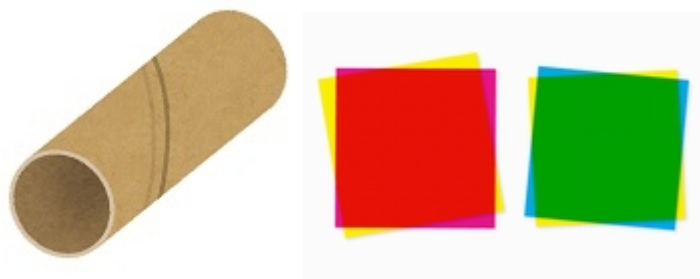
レンコンの穴や、ドーナツ、じょうろ、お弁当を作る型抜きからのぞくとどうなるか、見せてあげましょう。

■ やってみよう！

キッパーみたいに、色んな見え方を楽しもう！

望遠鏡や双眼鏡を作ろう！

材料)



作り方は無し！お子さんの自由な発想で作ってもらってください。

* クイズは果物の断面図など、ほんの少しひねってみましょう。



著者：森藤ゆかり

「2000年、英語子育てサイト「R-Train」を開設。
以降、20年以上に渡り、英語子育て中のお母さんたちと情報交換を続けている。

息子りくくんが、ORTに出合ったのは4歳。
現在、バイリンガルに成長したりくくんの子育てや、コミュニティでの経験から、
英語が苦手なお母さんでもできる、英語の絵本に親しむアイデア、
また、家庭教育について幅広く発信している。

著書「+(プラス)えいごではなまる子育て」(アルク)「はじめての絵作文ブック」(すばる舎)ほか」